

冬柴大臣とインド側との会談のポイント

(2007年4・5月訪印時)

【シン首相】

- 両国の発展と更なる友好関係の進展に向け努力していくことで一致
- 貨物専用鉄道の実現に向けた支援を表明
- 本年の日印観光交流年を契機として、人的交流に関する数値目標(現在の16万人を2010年:30万人、2015年:50万人に拡大)の実現を目指し、両国が観光交流拡大に向け努力していくことで一致
- ビザ制度の緩和具体化についてシン首相の支援を依頼、シン首相は最大限努力する旨表明
- 下水道、港湾、道路を始めとするインドの経済社会を支えるインフラ整備に対する貢献を表明

【ソニ観光・文化大臣】

- 本年の日印観光交流年の各種事業の実施を契機として、人的交流に関する数値目標の実現を目指し、両国が観光交流拡大に向け努力していくことで一致
- ビザ制度の緩和に向けて、日印双方が努力することで一致

【レディ都市開発大臣】

- 我が国の経験や技術を活かした下水道分野における両国間の協力関係の継続を確認
- 都市開発分野(水環境、都市開発、都市交通)での協力の一層の促進を図ることを目的とした実務者協議体の設置に係る覚書締結

【プラサド鉄道大臣】

- 貨物専用鉄道の実現に向けた両国間の協力関係の継続の確認(インド鉄道省と共同プレスリリースを実施)
- 貨物専用鉄道と港湾との連携強化を目的とした実務者協議体の設置や共同研究について鉄道省の協力を確認